

会社員のうちに やっておくべき 10の準備

おカネに困らない
人生をはじめよう

これ見た人
限定！

なにから始める？



あなた、これ、
ちゃんと読んで
ないでしょ



バチ当たるわよ



ジャパンシナジーシステム株式会社
Japan Synergy System

会社員のうちにやっておくべき10の準備

投資を新たに始めた 30 代が 50% を超えました。

これはもう‘流行’ってレベルではなく ‘新しい常識’ですね。

「これから投資を始める」「投資を初めてみたけれど、これでいいのかわからない」
というサラリーマンの方にとって、この資料がお役に立てば幸いです。

この資料では、以下のことをお伝えします。

計画の基本

- ☐ 準備①投資は計画ナシじゃダメ！どのくらいおカネが足りないかを把握する
- ☐ 準備②投資は長期戦！○才のときには○○○万円というように具体的な目標を立てる
- ☐ 準備③投資は「プラスアルファ」！大切なのは2つ「主力収入にしない」「マイナスにしない」

運用の基本

- ☐ 準備④投資は運まかせ NG！マーケットベースじゃなくゴールベースで。
- ☐ 準備⑤投資は局地戦！「勝つ」セオリーをしっかり理解し、小さな「勝ち戦」を積み上げる
- ☐ 準備⑥投資は資本力戦！目標に向けての適切な資本を手配する

行動の基本

- ☐ 準備⑦投資はパートナーとの共同戦！周りはプロ。たった一人で戦えるフィールドは少ない
- ☐ 準備⑧投資は期間限定戦！一定期間の目標へ到達するには、早期着手がカギ
- ☐ 準備⑨投資はやっぱり長期戦！「途中で息切れする、体力勝負」を避ける
- ☐ 準備⑩投資はこれから始めよう！最初にやるべき4つの投資

さあ、おカネに困らない人生をはじめましょう！



計画の基本

準備①計画ナシじゃダメ！ どのくらいおカネが足りないかを把握する

投資を始めるときに目標値を設定することが絶対に！必要です。
目標値は「現在」を基準にして計算した目安です。
ただし、この目安は1ミリも動かさないゴールと考えてください。

①通常、日本人であるなら、公的年金が将来受け取れます。
将来の収入の‘すでに確保しているもの’の把握から始め
ます。→ここで難しいのが把握のために「(将来までの自分の) 平均年収」
を出さなければいけない点です。

※60歳で定年。22歳で会社員に。国民年金は22歳から60歳まで納付と仮定します。

②現在の基準で、将来「どのくらいの収入でやっていきたい
か」を月額ベースで計算します。

③②と①の月額ベースの差を「100(歳)－公的年金支給年
齢(歳)」の年間数さらに12(ヶ月)を掛けて投資で作る
べき総額＝目標値を出します。

●次のページにカンタンに目標値を出す計算式を準備しています！

※平均年収を調べよう！

もしあなたが上場企業にお勤めなら、平均年収は
「有価証券報告書」で公表されています。
下記のwebサイトで簡単に調べることができます。

○金融庁の「EDINET」

<https://disclosure.edinet-fsa.go.jp>

○Yahoo ファイナンス (こちらの方が簡単に検索できます)

<https://finance.yahoo.co.jp>

もしあなたが非上場企業にお勤めの場合、正確な
平均年収を出すのは困難なので、業種で想定します。

○マイナビ転職 web サイト

<https://tenshoku.mynavi.jp/knowhow/income/ranking/02>

で平均年収が業種別に出ています。



計画の基本

準備①計画のための簡易計算式

あくまでも目標値＝ゴールの目安を出すためのものです

目標値は自分で設定しましょう。あなた自身のためのゴールです。

START

定年後、毎月 万円

× 12 × 35
ヶ月 年間

万円

将来（35年間（65～100歳））の必要額 / 世帯

すでに確保している年金受給総額（職歴別）
の目安 / 2人世帯

妻（夫婦共働き会社員）

平均年収 小数点第2位以下切捨て
 万円 ÷ 53.2 = 万円

夫（夫または妻1人が会社員）

平均年収 小数点第2位以下切捨て
 万円 ÷ 53.2 = 万円

国民年金
受給額平均
(2人分) 12.4 万円

上記合計（これが月額）

× 12 × 35
ヶ月 年間

= 万円

GOAL

万円

定年までに給料以外で準備する総額の目安

目標が
ハッキリしたね



計画の基本

準備②投資は長期戦！

○才のときには○○○万円というように具体的な目標を立てる

準備①で把握した「目標値＝GOAL」を年次に直します。

定年 60 歳から今の年齢を引いた数値で割ります。

(例：現在 30 歳なら 60-30 で 30 [年間])

毎年どのくらい収益を積むべきか、で‘進むべき道’がわかります。

GOAL

÷

60 [歳] - 現在の年齢 [歳]

=

1 年間の収益目標額
[万円]



計画の基本

準備③投資は「プラスアルファ」！

大切なのは2つ「主力収入にしない」「マイナスにしない」

将来の定年後・老後の生活費を確保する狙いで投資を始めるとき、
「どんなに儲かっても主力収入じゃない」「マイナス収支は絶対にダメ」
という意識が必要です。

本業と投資は
しっかり区別して管理を



運用の基本

準備④投資は運まかせ NG！

マーケットベースではなくゴールベースで。

自分の行動以外が結果に影響することをベースに計画を立てないこと！

GOAL



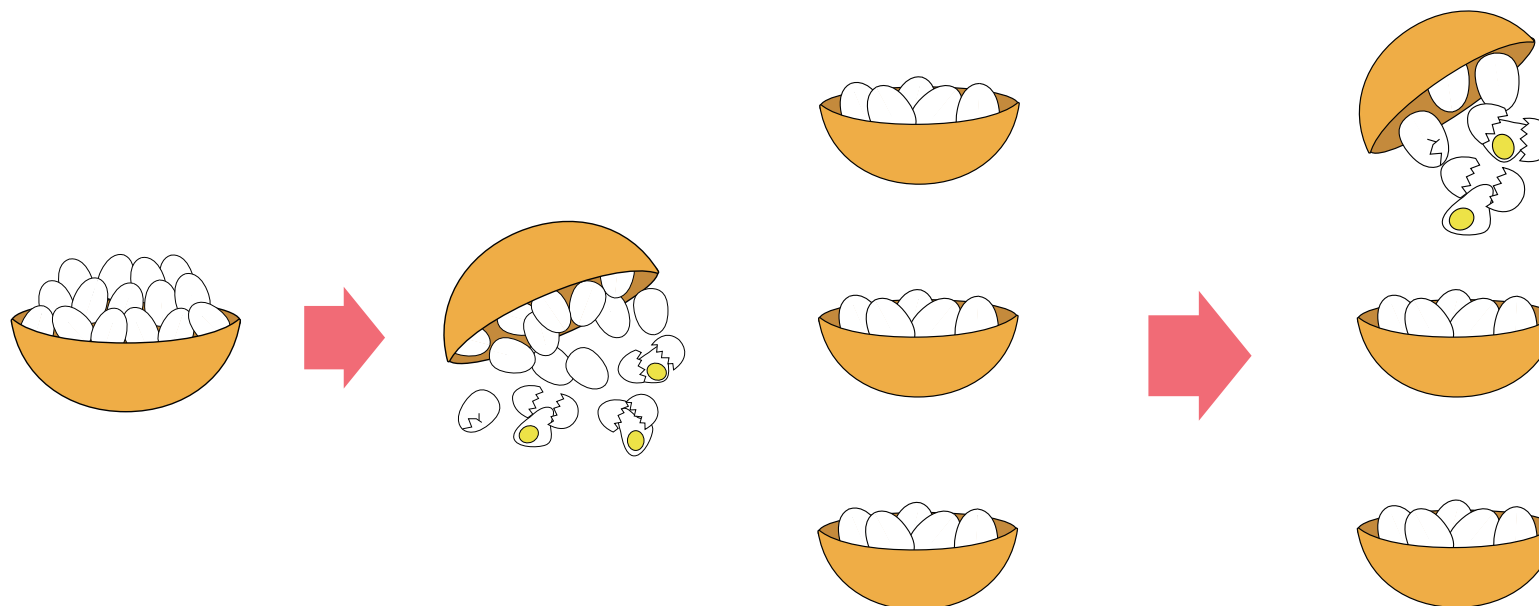
運用の基本

準備⑤投資は局地戦！

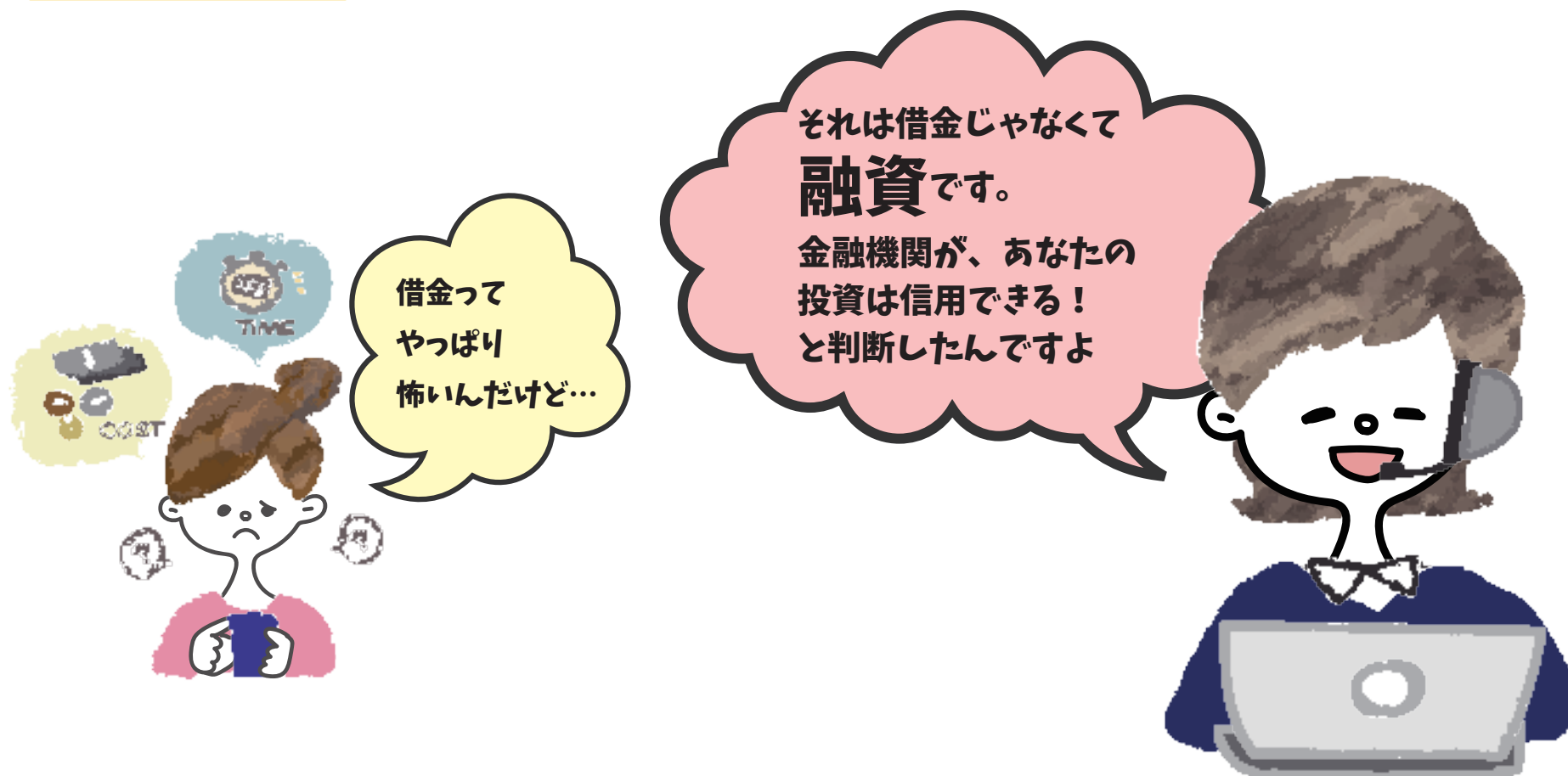
「勝つ」セオリーをしっかりと理解し、小さな「勝ち戦」を積み上げる

長期・分散・積立の3原則の意味をしっかりと理解。
月間単位で「小さく」勝ち、それを積み上げること。
できれば複数の「小さな勝ち」を一気に始めましょう。

投資の格言 「卵は1つのカゴに盛るな！」



目標額を達成するために必要な「資本」はどのくらいか？
少しずつでも収益が支出を上回る結果が出れば良いだけです。
借金を怖がらないこと。適切な資本が手配できないことを怖がることです。

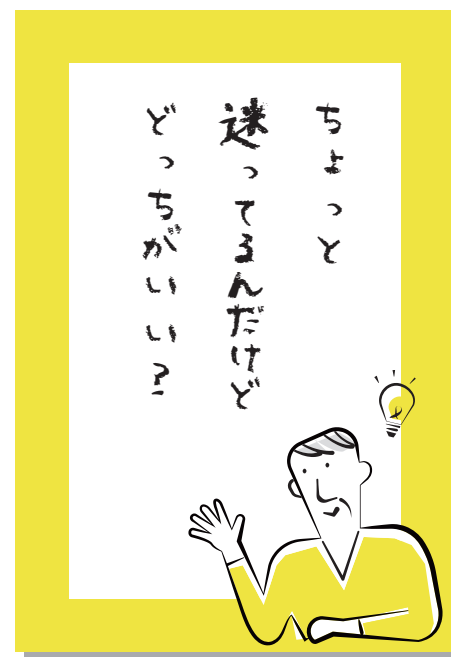
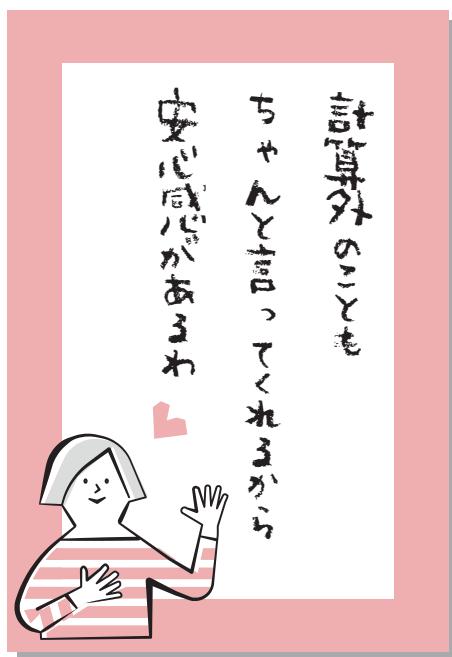


行動の基本

準備⑦投資はパートナーとの共同戦！

周りはプロ。たった一人で戦えるフィールドは少ない

必ず共同戦線を張れるパートナーと組むこと。
パートナーの見分け方は‘私の成功が彼の成功になる’‘ズルをしない’の2点。
投資の世界はプロだらけ。自己流で通用するフィールドはほぼありません。



行動の基本

準備⑧投資は期間限定戦！

一定期間の目標へ到達するには、早期着手がカギ

目標額を超えない限り、ゴールは動かさないこと。
設定した期間内に目標へ到達するには、**早期着手がカギ**となります。
先延ばしにするとゴールまでの期間が少なくなりリスクは大きくなります。

先延ばしにして
期間が短くなるほど
毎年の目標値が高く、
難易度が上がります！



人間の身体の機能は、少しずつですが確実に劣化していきます。
長期戦では劣化によるパフォーマンスの低下は積み重なると大きくなります。
自身の体力と時間を消耗させる「体力勝負」は絶対に避けましょう！

毎晩、投資の
勉強が大変

メンテナンス
に手がかる

こんなのは
絶対に
ダメ！

資金調達に
生活費を
かなり節約

マイナス収支
がいつも心配



具体的に最初の投資に向いている物を4つ紹介します。（それぞれ詳細は個別面談等でお尋ねください）
どれもかなりリスクが低いので、なるべくすぐに、すべてを始めてください。

●iDeCo【確定拠出年金法に基づいて実施されている私的年金の制度】

基本的に20歳以上60歳未満の全ての方が加入でき60歳になるまで、原則として資産を引き出すことはできません。掛け金は月額で上限があり、サラリーマンは2.3万円まで、その配偶者も2.3万円までです。60歳から年金資産を受け取るには、加入していた期間等（通算加入者等期間）が10年以上必要です。

【メリット】

- ① 所得税・住民税が軽減
- ② 確定拠出年金制度内での運用益が非課税
- ③ 一時金で受け取る場合1,500万円まで非課税

【デメリット】

- ① 原則60歳まで引き出せない
- ② 元本割れのリスクあり。多少は投資の知識が必要
- ③ 投資枠（額）が少ない
- ④ 手数料・維持費が掛かる

●つみたてNISA【少額投資非課税制度】

NISAとは一人原則1口座で開いたNISA口座で新たに取得した上場株式や株式投資信託等の「配当金・分配金・譲渡益」が非課税となる制度です。つみたてNISAは、毎年40万円を上限として一定の基準を満たした投資信託に積立投資することができます。投資をした年から最長20年間の間に得た分配金と売却益（譲渡益）が非課税になり、通常口座にかかる税金がかかりません。非課税で投資できる総額は最大800万円（年間40万円×20年）。

【メリット】

- ① 20年間、配当金・分配金・譲渡益が非課税
- ② 少額から始められる。※最低金額は金融機関によります
- ③ ドル・コスト平均法で平均買付単価を抑えられる

【デメリット】

- ① 国の基準を満たした商品に限定されている
- ② 元本割れのリスクあり。損したときに税制上の恩恵を受けられない

●太陽光発電投資（2019年度までのFIT認定案件）

売電開始から20年間、毎月定額で大手電力会社が発電した全量を買取ってくれます。初期投資が必要だが、ほとんどの場合フルローンが可能。一般的に他の投資商品よりも利回りが高い（9%程度）。

【メリット】

- ① 20年間、毎月決められた金額で売電した収入が入る
- ② 手出しゼロでも始められる（フルローン可能）
- ③ メンテナンスが容易でコストも少額
- ④ 利回りが高い（9%程度）
- ⑤ 消費税還付が受けられる場合がある

【デメリット】

- ① 動産保険・事業保険に加入しておいた方がよい
- ② FIT期間の後半10年間は廃棄費用の積み立てが義務付けられている

●中古マンション投資（賃貸向け）

賃貸としての需要が期待できる物件であれば、毎月、家賃収入として安定した収入が入ります。ローンで購入する際は「団体信用生命保険」に入る場合が多く、加入していれば、万が一のときに生命保険がわりになります。節税効果が高いことも特徴です。

【メリット】

- ① 賃貸需要が継続的に見込める案件であれば、安定収入となる
- ② 団体信用生命保険に加入しローンで購入すれば、生命保険がわりに
- ③ インフレに強く、担保力がある
- ④ 相続税のみならず、所得税・住民税の節税が可能

【デメリット】

- ① 賃貸入居時・退去時・老朽化他、定期的なメンテナンスが必要
- ② 空室状態になると収入がなくなる
- ③ 人口が増えている都市部など物件選択に条件が付く

